

コロナウイルス感染症感染拡大防止について

日々、当保育園の保育内容などについてご理解・ご協力をありがとうございます。保護者のみなさまのおかげで、コロナ禍の中でも子どもたちは笑顔いっぱい！ 元気いっぱいに過ごせております。

東京で緊急時代宣言が再度発出されたり、神奈川県もまん延防止措置がとられたりとまだまだコロナ禍が続くかと思えます。保護者のみなさまは感染防止にご配慮頂いているとは思いますが、改めてコロナウイルス感染症についての対応や感染防止についての対応をまとめさせて頂きました。お忙しいとは思いますが、ご確認をお願いいたします。なお、今回のお手紙では「コロナウイルス感染症予防接種後の副反応時の登園」についても記載させて頂いております。こちらも合わせて確認をお願いいたします。

【保育園が休園になる場合】

保育園の園児・保育園の職員のいずれかがコロナウイルス陽性となった場合には、2週間程度の休園となります。

休園期間につきましては、保健所・区役所の衛生課と相談して決定となりますのでご承知おきください。

【保護者が PCR 検査を受けている場合】

PCR 検査を受けることになった場合には、速やかに保育園にお知らせください。

なお、会社都合（出張や商談で必要・・・など）や祖父母に会うからといった任意で受ける場合もこの場合に含みます。

PCR 検査の結果が出るまでは、お子様は登園を自粛下さい。また、検査結果が出ましたら保育園までご報告をお願いいたします。

【職員が PCR 検査を受けている場合】

メールマガジンで速やかに保護者のみなさまの周知いたします。

【保護者の方がコロナウイルス陽性だった場合】

お子様が濃厚接触者に判定されるかと思いますので、保健所の指示に従って自粛・隔離をお願いいたします。

お子様の登園につきましても、保健所の指示に従って下さい。

※保護者の方がコロナウイルス陽性だった場合で、お子様が陰性の場合には休園対象にはなりません。

【保護者の方が濃厚接触者と判定された場合】

お子様を含め、必要期間の登園自粛をお願いいたします。

※保護者の方のみが濃厚接触者と判定されている場合は、保育料の返金はありません。

(濃厚接触者の接触者は特に判定や自粛が必要とされていないため)

ですが、万が一 保護者の方が濃厚接触からコロナウイルス陽性になった場合にはお子様が濃厚接触者になってしまう可能性が高いことから登園の自粛をお願いしております。保育園が集団生活であることから、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【職員が濃厚接触者と判定された場合】

メールマガジンで速やかに保護者のみなさまの周知いたします。

※この場合は休園対象とはなりません。当該職員のみ、必要期間の隔離を行います。

【同居家族（兄弟含む）に発熱症状がある場合】

可能な限り、お子様の登園の自粛をお願いいたします。兄弟のどちらかが発熱している場合も大変申し訳ありませんが、できるだけお休みを願います。(発熱していなくても、お子様が感染媒体となってしまう恐れが高いため)

咽頭炎・〇〇ウイルスなど発熱の原因がはっきりしているものについては、この限りではありません。

【コロナウイルス感染症予防接種後の副反応時について】

お子様の予防接種については、接種可能な年齢ではないので該当はしません。

保護者の方や同居家族（12歳以上の兄弟含む）がコロナウイルス感染症の予防接種を行った場合、当日・翌日の発熱の場合は登園自粛は必要ありません。（公に当日・翌日の発熱の副反応が周知されているため） ですが、2日目以降の発熱は予防接種の副反応かどうか？の判定ができないため、速やかに医療機関への受診をお願いいたします。なお、その際には、上記の同居家族に発熱症状がある場合に該当しますので、できるだけお子様のお休みにご協力ください。

たくさんのお願いをして大変申し訳ありません。

保育園は集団生活であり、みなさまが気持ちよく安心して保育を受けることができますようご理解・ご協力をお願いいたします。

なお、上記どのような場合におきましてもプライバシーは尊重させていただきますので、ご安心下さい。昨年度からのコロナ禍の中でも保護者のみなさまは暖かく、理解を示して下さい感謝しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。